



国宝 洛中洛外図屏風(上杉本) 米沢市上杉博物館
※原本の展示期間は3月17日～4月1日まで。

特別展 洛中洛外図屏風に描かれた世界

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

月曜日休館(祝日の場合は翌日休館)

●開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで)
●入館料 一般800円 高校生600円 小・中学生無料
友の会会員500円 障害者手帳提示の方・付添者 無料
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引

平成24年3月17日(土)～4月15日(日)



重要文化財 洛中洛外図屏風(舟本本) 東京国立博物館

- 主催 財団法人 林原美術館・文化庁・群馬県立歴史博物館・米沢市上杉博物館
- 特別協力 立正大学
- 後援 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、読売新聞大阪本社、日本経済新聞社岡山支局、産経新聞社、中国新聞備後本社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、Oniビジョン、FM岡山
- ギャラリートーク 会期中の毎週土曜日14時から学芸員によるギャラリートークを行います。(ただし3月17日(土)は15時30分頃から、3月31日(土)はスペシャルギャラリートークを開催します。)
- 特別講演会(要予約)
演題:「洛中洛外図屏風を読み解く」
日時:平成24年3月17日(土) 13時30分～15時
講師:黒田日出男氏(群馬県立歴史博物館 館長)
会場:岡山県立図書館 多目的ホール



重要文化財 洛中洛外図屏風（林原本） 林原美術館

特別展

洛中洛外図屏風に描かれた世界

桃山時代から江戸時代の京都の景観を描いた洛中洛外図は、当時の京都の建物や風俗を今に伝えてくれています。本展では、現存する中で最も古い様式の洛中洛外図の一つで、若き日の狩野永徳が描き、織田信長が上杉謙信に贈った国宝の上杉本（米沢市上杉博物館）をはじめとし、最も個性的な描写で知られる舟木本（東京国立博物館）、下書きながらもその精緻な描写で知られる東博模本（同）、岡山藩主池田家に伝来し、江戸時代初期の徳川和子の入内行列をはじめ3千人を超える人物が描写された当館所蔵の林原本、

そして林原本と同一工房で制作されたと考えられる岐阜市歴史博物館本など、日本を代表する洛中洛外図を一堂に集めるという画期的な展示をいたします。

また立正大学のプロジェクトチームにより制作された、上杉本・林原本などの洛中洛外図屏風の高精細デジタル画像を御覧いただくことで、各屏風のより細部を確認することができます。京都の町に暮らす人々の活気ある様子や二条城や御所の姿、祇園祭の山鉦、町中の芸能など、洛中洛外図に描かれた世界を存分にお楽しみください。

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

* 車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分
 岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分
 宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展「びぜんの華—備前焼と備前刀—」
 平成24年4月27日(金)~6月3日(日)

岡山を代表する工芸品の備前焼と備前刀。その技術と情熱は現在まで引き継がれています。本展では桃山時代の備前焼と鎌倉時代の備前刀をはじめとした各時代の代表的な作品と、現在の人間国宝の備前焼と備前刀をご覧ください。